

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あみりあ新小岩			
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		～	2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年1月31日		～	2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ホームページ・LITALICOブログや、事業所内で配布するお便りなどで、活動の様子を公表している。	ブログの更新をこまめに行っている。お便りも、年4回定期的に配布を行っている。	更新したブログを、外部の方だけではなく、今利用されている方や家族にも周知し、活動の様子を知っていただく。
2	職員間での情報共有を徹底している。	日々の日誌に、振り返りや共有を記入し、保護者からの情報を共有している。 毎朝の朝礼でも情報共有を行い、必要事項は放デイ職員にも共有している。	新しく入った職員にも日誌を周知し、情報共有を怠らない。引き続き、朝礼記録にも必要事項は記載し、ミーティングでも共有を行う。放デイ職員にも共有を行っていく。 保護者の方への共有も、サービス提供記録への記載、送迎時の口頭でのお話、必要であれば別に手紙を添えるなど、工夫を行う。
3	個別支援計画について十分に説明しており、ご利用者様が満足して通ってくださっている。	児発管・管理者を中心に、保護者の方への説明を丁寧に行っている。	児発管・管理者が引き続き丁寧に説明を行っていく。また、職員が説明内容を知らない場合もある為、職員への共有も行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の対策が足りていない。 保護者への周知が足りていない。	マニュアルは整備されているが、保護者への周知が足りていない。 避難訓練は行っているが、保護者への報告がうまくできていない。	マニュアルの周知徹底を行う。必要があれば配布する、避難訓練を行った際に、利用児童の様子とともに、保護差にきちんと報告する。
2	保護者同士の交流や、地域交流、同年代の幼稚園や保育園などとの交流が少ない。	保護者会は行っているが、年に数回しか行えていない。地域交流も年に1回、ハロウィンでは行っているが、それ以外には行えていない。 地域の幼稚園や保育園など、同年代との交流も行えていない。	保護者会の頻度を増やしていく。 今つながりのある地域の方とも、ハロウィン以外の行事でも交流が出来るように企画を考えていく。 地域の幼稚園や保育園などもつながりを作っていく。
3	保護者の方に、日々の支援を見ていただく機会がない。	フロアが狭く、窓も高い位置にある為、外から見ただくのは難しい。 保護者の方が来ていると、普段の様子とは変わってしまう場合もあるため、課題が多い。	普段の様子を動画で撮影して見ていただくことや、工夫して保護者の方に直接見ていただく方法を考えていく。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	あみりあ新小岩		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・2、3グループに分けて、室内と外出組に分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・多い時もあれば少ない時もある。	・土曜日は子どもが多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		・もっと絵カードを活用したい。 ・特性に合わせたスペースのつくりを、更に具体的に必要がある。(クールダウン等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4		・今は玄関を利用している。 ・パーテーションなどの設置を検討中。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎月の全体MTGにて共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・日頃のコミュニケーションはあるが、特別な機会は設けていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・事前にミーティングで話す場を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・共有不足を感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・月案を考え、周知している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・固定化しつつも、変化を出している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		・共有しているが、送迎などにより、一部の 人だけの共有になることもある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		・もっと増やしたい。 ・行われていない。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	3		不明。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0			
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・保護者会を行っているが、ペアレント トレーニングなどは行っていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		・自分が行っていないが、管理者や児発管が 行っていると思う、		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		・児発管が行っていると思う。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・保護者会を例年より多く行った。小規模での開催も行い、交流の場の提供を行った。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・イベントで歩いて挨拶に行くなどして、地域交流をしている。	・招待はしていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		・家族に周知しているかは不明。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		・備蓄品が不足している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者の指示に基づく対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・管理者が行っていると思う、
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			